

## 2024年度 施設関係者評価委員会 議事録

日時：2025（令和7）年2月25日（火）14:00～15:00

評価委員出席者：赤澤淳子様（福山大学人間文化学部教授）

平木滋子様（瀬戸内不動産役員・国際ソロプロミスト福山会員）

青野篤子（社会福祉法人つくし会理事・嘱託アドバイザー）

園側出席者：こどもえんつくし副園長

社会福祉法人つくし会理事・みちのうえこども園園長

場所：こどもえんつくし フォレスター ダイニング・ホール

資料：こどもえんつくし教育・保育課程

こどもえんつくし重要事項説明書

こどもえんつくし職員自己評価

### ＜議題＞

0. 議事に先立ち、こどもえんつくし副園長より挨拶

1. 委員長（議長）の選出

赤澤委員が選出され、議事に入った。議事録は青野が作成することになった。

2. 議事

（1）教育・保育課程（表をもとに）

- 一部語尾の表現に不統一がある（1歳児の行動目標の部分）
- 教育・保育の内容に「食育」が含まれているが、教育・保育方針や教育・保育目標にも食育に関連した説明があった方がよいのではないか
- 他園にはない本園の特徴は？

⇒ 保護者からは、ホームページを見て「建築が美しい」、「食育」などの意見。園としては「ほんもの」に触れさせる（アートや建築物）ということも伝えている

（2）環境について

- 安全面を中心にメンテナンスにも十分配慮してほしい

（3）職員の自己評価について

職員の自己評価で「保護者や地域からの苦情に適切に対応することができる」が1.9で最低であるが、なぜか？改善策は？

① 保護者対応について

- 現状はどうか
- ⇒ 複数対応、情報の共有、相談を心掛けている。より有効な方法を検討したい

② 保護者との連絡方法

- 「おちょうめん」はどうしているか？

⇒ 園の業務のICT化は必要な面もあるが、対面コミュニケーションの確保、個人情報の点から、SNSやインターネットの利用は若手の意見も聞きながら慎重に検討したい

（4）社会連携：福山大学子ども遊び広場の共同運営

- 福山市もネウボラの推進を充実させようとしているが、そういうもののとの差別化も

必要

(5) ホームページについて

- さらに見やすく、園をアピールするような工夫をしてほしい

(6) その他情報交換

3. 閉会

以上

文責：青野